

2023年5月18日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 M C J  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兼 C O O 安 井 元 康  
(スタンダード市場 コード番号: 6670)  
問 合 せ 先 経 営 企 画 室 広 報 I R 担 当  
ir-otoiawase@mcj.jp

## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値の向上を図ることを目的として、当社取締役会全体の実効性に関する評価を行いましたので、その結果の概要について下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 評価の方法

すべての取締役・監査役に対して、取締役会の実効性に関する評価の趣旨等を説明のうえ、質問票を配布し、全員からの回答により得られた結果に基づき、社外取締役及び社外監査役で構成される「諮問委員会」にて分析・評価を実施いたしました。

質問票の内容（大項目）

- ・ 取締役会の構成と運営
- ・ 経営戦略と事業戦略
- ・ 企業倫理とリスク管理
- ・ 業績モニタリングと経営陣（執行役員を含む）の評価・報酬
- ・ 株主等との対話

#### 2. 評価結果の概要

当社取締役会は、取締役会の構成、取締役会の運営状況、社外役員を含む取締役会の十分な支援体制、株主を含めたステークホルダーとの関係等について確認した結果、現状における取締役会の実効性は十分に確保されていることを確認いたしました。

一方、当社取締役会の実効性をさらに高めるために取り組むべき課題として、諮問委員会より以下の提言を得ました。

- ・ コロナ禍で不十分となっていた役員間のコミュニケーション手段について、定例外のミーティングの実施や、よりグループ各社の事業を理解するうえでも、事業の現場や工場を視察する等の取り組みも検討すること
- ・ グループ間の連携をより強化するため、またM&A等の検討においても、役員それぞれが当社の沿革や事業構造、シナジーの状況についてより深く理解をする必要があり、事業ポートフォリオの見直しや経営資源の最適な配分を議論する際においても重要となる、情報の整理と共有の仕組みを検討すること
- ・ 役員向けのトレーニング、取締役候補者の選任方針において一定の取り組みが進んでいるが、グループ各社を含むサクセッションプランの進捗など、より具体的な施策を検討すること

#### 3. 今後の対応

当社取締役会は、以上の提言・評価結果等を踏まえ、より実効性の高い取締役会の実現に向けた改善を、不断の努力を以って推し進めてまいります。

以上